

## より広くより深く 神戸三田キャンパスの新生のために

松 木 真 一

4月1日の入学式から、もう1か月半が過ぎました。ここ神戸三田キャンパスも、多くの新生を迎え、毎日活気に満ちた風景を見せています。西宮のキャンパスと違って、学部数は2つだけです。それでも総政619名、理工552名あわせて1200名近くの学生が新しく入学し、14年前のキャンパス開設時を思うと、在学生の数も教職員の数も急増し、新しい建物や施設も着実に増え、広大な美しいキャンパス、素晴らしい自然環境の中に身を置きながら、事実、神戸三田独特の雰囲気を実感せざるを得ません。特に関学唯一の理系・理工学部の存在は総合政策学部の学生には大きな刺激になるでしょうし、また総合政策学部生との出会いは理工学部生に極めて有意義なものです。このことはまた、西宮の多くの学部生との交流や出会いにおいても同様で、互いに新しい刺激や意義を共有し合う場と機会がますます広がっていくように、と期待し願っています。

どの学部もいわゆる定礎の聖句を持っています。総政の聖句は「・・・仕える者になり、すべての人のしもべになりなさい。・・・仕えられるためではなく仕えるために・・・」（マルコ10：43-45）、理工の聖句は「愛をもって互いに仕えなさい」（ガラテヤ5：13）。大いに共通するところがあります。建学の精神マスター・フォア・サービスとも見事に連関しあっています。むしろ、建学の精神が学部それぞれの聖句を通して具現している、とも言えるようです。ここで「仕えなさい」（ガラテヤ5：13）の原語ドウ・リュエテは、「しもべ」ドウ・ロス（マルコ10：44）と同根の動詞です。共通する所以です。これらの語は言うまでもなく、人々に仕えなさい、互いに仕えあいなさい、という勧めを意味しています。しかしそれだけではありません。もっと深い意味も含んでいるようです。

仕える、しもべ、愛をもって互いに仕えるということは、やはり「自由である」というところこそ本当に可能になるのではないのでしょうか。自己自身から、自己の狭い視野や枠や殻から、自己のエゴイズムや欲望や権威や立場から解放され自由になるところこそ、です。自分に囚われ、いつまでもエゴイズ

ムや自分の立場に固執し、狭い視野や殻に閉じこもってはいは、本当は決して実現できないのだ、と。宗教改革者ルターの名著『キリスト者の自由』が思い出されます。

関西学院が120年の間一貫してきたキリスト教主義教育、一貫して主張してきたキリスト教は、まさにこのような「自由」を今も学生一人ひとりに語りかけています。理工の学生は、現代の科学技術文明の最先端のところで学び勉強し研究を始めようとしています。その場合、こうした文明に絡み合っ、現代人をますます苦しめている深刻な諸問題にもしっかり目を開き、その原因と指摘される従来の科学万能主義、科学技術の行き過ぎを生んだ人間の欲望や一義的な思考の枠組みから自由になって、より広いより深い視野に立って取り組んでほしい、と願っています。そのことこそ現代の人々に、また社会や世界により広いより深い貢献をしていく原動力となるのではないのでしょうか。総政の学生は、現代における政策研究の重大な課題を担っています。その場合、現代世界の混迷・混乱状況、虚無的な危機をもたらした人間のエゴイズムやニヒリズムから解放された自由で柔軟な目と心で、より広くより深く現代社会や世界のために貢献していく豊かな学びを期待しています。

他学部の学生と共に力を合わせて、関西学院の新しい未来と前進に向けて確かな一歩を力強く踏み出すことができるように、と祈っています。

(理工学部宗教主事)

---

#### チャペル・オルガニスト募集

関西学院では毎年チャペル・オルガニストを募集しており、本年は5月30日にオーディションを行います。採用されますと個人レッスンを受けることができ、チャペルの奏楽をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身に付けることができます。

応募方法：「募集要項」「応募用紙」を吉岡記念館事務室宗教センターまたは聖和キャンパス事務室（1号館教育学部担当）で受け取り、オーディションの応募用紙を提出してください。

「募集要項」「応募用紙」がダウンロードできます。

[http://www.kwansei.ac.jp/c\\_christian/index.jsp](http://www.kwansei.ac.jp/c_christian/index.jsp)

応募期間：5月1日(金)~28日(木)の事務室開室時間

お問い合わせ：吉岡記念館事務室宗教センター 0798 54 6018